FIKO NEWS FLASH

No. 20
NOVEMBER 1950

榮光学園新聞部
横須賀市浦田

榮軍曉星軍と初試合

上智新グランドにて

十一月三日、文化の日に我野球部は上智大学大学祭に招待されて、曉星との初連盟試合を行った。

当日は朝からどんよりとした空で今にも雨が降りそうな天気で一行が、向こうについたころから雨がぽつぽつ降り始めた。

試合前少し学内を見学させてもらってから、着替え室へ行って二ホームに着替え、グラウンドに出て、バッティングを始めた。もうすでに曉星チームはベンチに休んでいた。

みんなあがってしまったらしく、いつもよりあたっていなかった。

一通り終ってから、ふるえながら昼食をとった。食べながら向井先生から試合についていろいろなご注意が有った。

十二時十分、試合開始。我軍のメンバーはトップアサード[illegible]、二番、キャッチャー[illegible]、三番、[illegible]ファスト、四番、レフト[illegible]、五番、ショート[illegible]、六番、セカンド[illegible]、七番、ピッチャー小[illegible]、八番、ライト[illegible]、九番、センター[illegible]、で あった。

曉星のメンバーは、トップ、サード[illegible]、二番ショート[illegible]、キャッチャー[illegible]、三番、ピッチャー[illegible]、四番、レフト[illegible]、五番、キャッチャー[illegible]、六番、セカンド[illegible]、七番、ファスト[illegible]、八番、ライト[illegible]、九番、センター[illegible]、であった。

我軍先攻、三者三振、おしくもピッチャーにうちとられた。

一回裏、ワンアウト後二番バッター主将の[illegible]がサードに放ったゴロを[illegible]ハンブルしてランナー一塁、[illegible]次のボールを暴投してランナー二塁。つづく三番のピッチャー[illegible]ッウ、スリー後、ショートゴロを放ったが[illegible]、[illegible]、孫くまもりすぎてエラー、ランナー一塁、三塁、又[illegible]暴投、三塁のランナー生還。一塁のランナーがサードフライでアウ[illegible]と なって二塁へ盗塁、ダブルプレイ、[illegible]チエンジ。

二回[illegible]、[illegible]第一球をバッシとばかりライトへたたいて、球はぐんぐんのびてホームランになりそう。

だがおしい、もう二、三米ばかりとべば、はいったのに、かけのねもとにはねかえってしまったので、一塁に止った。

次ぐ五番のツーボール後打った球はセカンドの[illegible]上を抜き、ぐうっと右中間に切れるライナー性のあたりで、二塁打、[illegible]その間に生還。我軍一点を返した。次打者三振。

次[illegible]、向井先生からヒットエンド、ランのサインが出た。みていなかったが[illegible]もうれつないきおいで、三塁をおとし入れた。次又バンドのサインが出たが、[illegible]は見てなかったので、[illegible]ホームでさされてしまった。

二回裏、ピッチャーあまり調子がよくなく、ボール多く又よく打たれた。この回ヒット三本をうばわれたが辛うじて無得点でおわった。

三回表、三者凡退。

三回裏、ワンダンの後三番、三塁間を抜くゴロのヒットで一塁へ出る。このころから[illegible]ますます悪く、四番に対する第一球、暴投、ランナー二塁ノー、スリーとなり、ピッチャー[illegible]上交代。

[illegible]第一球投げて、ボール、四球。

彼は、とても試合慣れがあり、さかんに喪鳴をふりまいて、試合の空気をなごやかにした。

五番、ツー、ワンの後、一塁側へヒット、満塁。つづくバッター六番サードフライでアウト、二死。

七番バッター四球、サードのランナー生還。又一点追加。合計2：1。八番バッターサードフライでチエンジ。

四回表、三、四番としりぞき、五番、サード側内野安打。続く[illegible]遊間にヒットを放ち、よしと思われたが、ピッチャーゴロでチエンジ。

四回裏、三者凡退。

五回表、無得点。

五回裏、四番レフト、センター間のヒットで一塁へ出たが、[illegible]のうまい一塁けんせい球でアウト。

六回表、無安打。

六回裏、八番四球、ピッチャーの暴投で、二塁へ進塁。又してもけんせい球で二塁のランナーアウト。トップ内野安打を打って一塁へ出たが二番三振。

七回表、いよいよ最終回七、八番とつづいてピッチャーゴロ、ラストの[illegible]のかわりに[illegible]がピンチヒッターで出たが、おしくも三振。

2A：1で榮光チームは曉星にやぶれた。

試合後、向井先生は、みんな初めてとしてはよく戦ってくれた。これでよしとやる自信もついた。

と云っておられた。

試合後、上智学院で、歓迎をひらき、応えんに行ったものと、せんしゅと、曉星の選手といろいろ話しあったり、歓をつくしたりして散会した。

六百米リレー

榮光対曉星

十一月三日。野球試合の後、野球メンバーの対抗で、六百米リレーを行う事になった。

榮光のメンバーはトップ[illegible]、二番、[illegible]、三番、[illegible]、四番、[illegible]、[illegible]であった。

スタートで曉星の選手が少しやりなおしをやり、スタートした。スタートしたとたん敵のトップが少し前のめりになりそうになった所、ぐんと五米ぐらいリードして、百米ぐらいまでそのかんかくを保っていたが、百米以上ぬかれていた。

二三十米のカーブになると、少し、のスピードがにわたすころは、三〇米以上ぬかれていた。

[illegible]はとても早く、走りはじめたとたんにもうぬいてしまって、バトンタッチの所では、三米ぐらいぬいた。四番の[illegible]これ又全然早く、敵を十米以上はなして堂々ゴールを切った。

野球では負けたけれど、リレーで大勝した。

孤児慰問に協力

もうすぐ楽しいクリスマスを迎えます。クリスマスといえばすぐプレゼントを思い出しますが、このクリスマスとは人から物をもらうだけのものではなく、人に愛情だけのものであってもあげるという事をしてこそ、ここにクリスマスの意義が出て来るのです。この精神はカトリック的に云えば、隣人愛と云われ、この崇高な教は孔子の教えの中にも数多く見られます。

しかしこう云う物は、いくら口で云っても実行に移さなければ何の役にも立ちません。例えば、道に可愛想な人が居ますと、たい「あっあの人は可愛想だなと思って通り過ぎてしまうとしたら絶対その人に対して何の役にも立っていないわけです。だから、僕達は今年はこの様に通り過ぎないで、このクリスマスに世の中の不幸な人達におくりものをしたいと思います。次にその計画の内容を具体的に書きますから、ふるって御協力下さい。

一、今回は主に困っている子供を対象にします

二、内容について

A、学用品

ノート、鉛筆、（十糎以上）等。

B、お金（お菓子を買うためのも必要）

C、遊ぶ道具

おもちゃ、ゲーム、ボール

D、図書類

絵本、マンガ等

A・C・Dは古物でもまだ使える物なら結構です。

三、〆切はだいたい今月の二十日（水曜日）までとします。

四、回収方法

お金は両方の入口の投書箱にお入れ下さい。

A・C・Dの物は別の箱を用意しますからその中へ寄贈物などに回んで、お入れください。

かわいそうな子供達がクリスマスだけでも楽しい日を過ごすことが出来るように、自分のあこがれを少しさいても、愛の精神をもって御協力下さいますようお願いします。

希望に向って勉励せよ

級落のレベルは決る

中学一年

去る十月一日朝礼の時校長先生は一年生に対する勉強の仕方を次の様に述べられた。

諸君の一学期の成績を見て悪い者は勉強が足りなかったと思います。

悪い者のうち七割までが一時間半位しか勉強していません。私は前に二時間以上勉強しなさいと云いました。

それなのに一時間半しか勉強しませんでした。子二時間以上勉強しなさい。二時間勉強するといっても、机の下に雑誌や野球の本が置いてあっては何もなりません。

それから成績よりも人間を作る事です。人間を立派に作って世の中の立派な人になりなさい。ではしっかり勉強しましょう。

中学二年

高校に上るための最も大切な、土台となる時期にある二年生は十月十七日（火）に朝礼を他の生徒とは別に広間に於て行い校長先生から次の如き訓話をおきました。

(1)二年生はもう高校に入れるように学習、勉強する必要がある。及第する者は、三年、高校と上級になるに従って難しくなるのであって、自分の成績をいつもよく考えて勉強しておかないと後とても苦労する。現に今の高校生にもそのような人がいる。

(2)そのためには、目的平均二点向はどうしても勉強する必要がある。これは学校できめた最低限度のものであって、今の成績の悪い人のうち九目の学科平均が六四点以下、又は重要・普通を通じ一教科でも五〇点以下のものがあった時は落第となる。又全科目を通じ二教科以上五九点以下のものがあったら落第を原則とする。

(4)また勉強を積極的にやること。よく自問して分らない所がないようにしておく。とにかく先生やる必要はあまり丁寧にやる必要はない。それ程きれいにやる時間があるのなら、その時間を他の勉強の時間にくり入れて時間を有効に使うと上手に使う事。

(3)又重要科目、普通科目の学科平均が六四点以下、又は重要・普通を通じ一教科でも五〇点以下のものがあった時は落第となる。又全科目を通じ二教科以上五九点以下のものがあったら落第を原則とする。

(4)また勉強を積極的にやること。よく自問して分らない所がないようにしておく。とにかく先生やる必要はあまり丁寧にやる必要はない。それ程きれいにやる時間があるのなら、その時間を他の勉強の時間にくり入れて時間を有効に使うと上手に使う事。

地区別榮光会報

第二回地区別榮光会が鎌倉（三五）、横浜（中区部及川崎）、横須賀（上町下町田浦）、逗浜（三）の順で行われた。

此の会の目的は総会では[illegible]父兄の意見は疑問を出し父兄の[illegible]区別に会を開き父兄の意見や疑問を聞く機会を作ろうというのが主な目的で考慮で考る。この会の主な議題としては、

一、科目の場合は、決定会議により決定する。

二、其他に関しては必要に応じて学校より連絡する。

皆さん二学期は勉学のシーズンです。しっかり勉強しましょう。

高等学校

十月二十三日放課後校長先生は高一A の生徒に大学に入る準備と勉強態度に就いて次の様に注意された。

一、大学試験の為にはどうしても本校の必修科目は必要である。だから勉強が片寄ってはいけない。

一体を著くする程勉強するのはいけないが、緩急は大変激しいから正確な知識を得る勉強が必要。

一、中学生でさえ日に二時間勉強するのだから高校生はもっとしなければならない。

一週間にあまり丁寧にやる必要はない。それ程きれいにやる時間があるのなら、その時間を他の勉強の時間にくり入れて時間を有効に使うと上手に使う事。

平均が七〇点以上を要する二重要科目普通科目を通じ、二科目以上六四点以下があったら進学出来ない。一科目の場合は、決定会議により決定する。

三、其他に関しては必要に応じて学校より連絡する。

皆さん二学期は勉学のシーズンです。しっかり勉強しましょう。

高等学校

十月二十三日放課後校長先生は高一A の生徒に大学に入る準備と勉強態度に就いて次の様に注意された。

一、大学試験の為にはどうしても本校の必修科目は必要である。だから勉強が片寄ってはいけない。

一体を著くする程勉強するのはいけないが、緩急は大変激しいから正確な知識を得る勉強が必要。

一、中学生でさえ日に二時間勉強するのだから高校生はもっとしなければならない。

一週間にあまり丁寧にやる必要はない。それ程きれいにやる時間があるのなら、その時間を他の勉強の時間にくり入れて時間を有効に使うと上手に使う事。

ぬかれるかと思われたが、ぬかれずに二番の[illegible]にバトンをわたした。[illegible]は、五十米行かないうちにもうぬかれてしまった。三番の[illegible]にわたすころは、三〇米以上ぬかれていた。

[illegible]はとても早く、走りはじめたとたんにもうぬいてしまって、バトンタッチの所では、三米ぐらいぬいた。四番の[illegible]これ又全然早く、敵を十米以上はなして堂々ゴールを切った。

野球では負けたけれど、リレーで大勝した。

第二回地区別榮光会が鎌倉（三五）、横浜（中区部及川崎）、横須賀（上町下町田浦）、逗浜（三）の順で行われた。

此の会の目的は総会では[illegible]父兄の意見は疑問を出し父兄の[illegible]区別に会を開き父兄の意見や疑問を聞く機会を作ろうというのが主な目的で考慮で考る。この会の主な議題としては、

一、科目の場合は、決定会議により決定する。

二、其他に関しては必要に応じて学校より連絡する。

皆さん二学期は勉学のシーズンです。しっかり勉強しましょう。

高等学校

十月二十三日放課後校長先生は高一A の生徒に大学に入る準備と勉強態度に就いて次の様に注意された。

一、大学試験の為にはどうしても本校の必修科目は必要である。だから勉強が片寄ってはいけない。

一体を著くする程勉強するのはいけないが、緩急は大変激しいから正確な知識を得る勉強が必要。

一、中学生でさえ日に二時間勉強するのだから高校生はもっとしなければならない。

一週間にあまり丁寧にやる必要はない。それ程きれいにやる時間があるのなら、その時間を他の勉強の時間にくり入れて時間を有効に使うと上手に使う事。

めざましき部の活躍

生物研究部

今春浅野先生の御指導のもとに活動を開始した生物研究部は、現在、我校に於て最も活発に活動している部の一つである。と言ってよい。今、行っている主な仕事は三つで

一、実験圃場（実験園）にするための花壇の耕作。

二、遺伝実験の為ショウジョウバエの飼育。

三、学校附近の植物群落の調査である。この他、個人的には、色々な生物採集を行っている。部員は、二年生二十四名三年生六名で皆非常に熱心である。なおこの部の特色として部員図書が有る。蔵書は五十冊位で生徒と先生がもちよったものである。浅野先生に設備や将来の計画についてうかがってみると

「設備は中学生としては充分であって、大変優れていると思う。

ただ標本類が足りないがこれもだん〳〵に充実してゆきたい。将来、学校の行事のあった時等研究発表会や展覧会も開いて行きたい」とのことであった。

体操部

創立記念学芸会と慶祝会の二回に、発表の機会をもった。体操部熊野先生の指導弟子十八名は、あいかわらず、元気一杯練習を続けている。今学期からは、マットワークは、重点的なものとして、鉄棒に主力を注いで行くそうで、毎週金曜二時間練習を行っている。

演劇部

先月誕生したばかりのこの部は、クリスマスまで日数もさうないので脚本の選定も終り、早速練習にとりかかっている。高等学生（六名）中学生（五名）の別々のグループとなり、夫々個々に劇を上演するそうである。

「皆熱心でかなり自信です。クリスマス迄楽しみにしていて下さい。」とは本居先生のお話し。

写真部

雨の日も、風の日も、毎日写真台に上って、地味な観測を続けているのは、見山先生のもと、中二、三、二十二名、高一四名からなる写真部だ。

現在の課題は、観測の結果のまとめと、天気図の読み書きが出来る様になる事である。又二三週に一度講義がある。

「この写真台から予報を出すには、先ず資料集めからやらねばならぬので近い将来には不可能である」と見山先生はおっしゃった。尚現在観測しているものは、気温、風速、風向、湿度、気圧、雲量などである。

制服

今度学校で、ジャンパーを希望者に安く売ることになった。

これは校長先生の御好意で米海軍士官の古の上衣を安くゆずってもらったもので、それを裏にしめたものである。

しかもこれは栄光会安興会に於ても地区別栄光会に於ても大反響判が良かったので、今度これを制服とまでゆかなくとも学校で直接買えることになった。

来年の一月、二月には千番近く出来上る予定である。

自治会は不要

十月二十八日（土）の朝会で、シュトルテ先生は、「本校の生徒は自治会がなくても十分に自治性が発揮されておりその必要もない。」と大要次のように話された。

この頃、横須賀の小学校員が来校された際、学校参観後に懇談会が行われた。この時に自治会の話しが出たが、皆は何故この学校に自治会がないかと驚いて尋ねた。

そのことについて少し君達に話したい上思う。

終戦後、どこの学校にも自治会が出来た。しかしこれが出来ても結果としては、生徒は悪くなるばかりである。去年までは少年犯罪といえば主に青年犯罪で、年令的に見ても十七才からニ十二才までであったのが、今年に入ってからは十二才から十六位までが多くなって来た。これは悲しいことである。シュトルテ先生談

学校には自治会が無い。然し生徒、特に上級生の方には、非常に自治性というものがある。

この学校でも皆がしっかりすれば自治会を作る。

しかし、それは学校に対して敵対を持つと云うことは全然ない。

そのような自治会は、この学校で作らない。

皆の不満などをまとめる為の不満会などを設置することは、学校で放置傍観してもよい事となった。但しその時は必ず一人で、先生は一切手伝わない事になっている。

○便所当番も清掃係番

○地区別栄光会の際に「便所当番は子供達が可愛そうだ」という意見が出た。しかし、本校のこれに対する意見は「便所当番も清掃係番の一つだ。男としてこう云う経験もしておく必要がある」という事だ。

○学校は厳格ではない

「本校では制服が厳しすぎる」という声があるそうだ。しかし本校の訓育は、自然法にもとづいたものであって、いわば人間としてなすべき事を教え、かつそれに尽くすものである。従って、厳格な事は少しもないのである。

良書案内

今月は担当先生に本校図書室に備えられている本のうちから良い本を選んで頂いた。

○中学生向き

△中学生全集（「目下十一巻」）

（岩波書店）

これは今月面白いわゆる家庭連で内容としても面白いものがとうっている。高等学生に向きもしばしばかすこ

△考える子供達　高島敏夫

これは西日新聞出版文化賞を授与されたものである。

△黄河の水　宮山喜一

○高等学生向き

△社会の詩集中学生編　吉田静一

△自由と平等　長谷部　師

△土　アルベ神父

△若き世代に与う

△考える。

△大学の理論・ニューマン

学生の義務

○放課後の遊歩許可

家庭の事情で、家で勉強する事の出来ない者は、学校で放課後勉強してもよい事となった。但しその時は必ず一人で、先生は一切手伝わない事になっている。

○便所当番も清掃係番

○地区別栄光会の際に「便所当番は子供達が可愛そうだ」という意見が出た。しかし、本校のこれに対する意見は「便所当番も清掃係番の一つだ。男としてこう云う経験もしておく必要がある」という事だ。

○学校は厳格ではない

「本校では制服が厳しすぎる」という声があるそうだ。しかし本校の訓育は、自然法にもとづいたものであって、いわば人間としてなすべき事を教え、かつそれに尽くすものである。従って、厳格な事は少しもないのである。

ペレッテイ先生より図書費五千円

今回スペインにいらっしゃるペレッテイ先生より学校図書購入の為に寄附があり、この金で学校は生徒用として平凡社発行の「社会科事典」全十巻を買い入れた。

金沢文庫見学

高等学校の社会科選択生徒一同、三年生の約半数その他有志は、当員先生に引率されて先月十四日（土）の午後から金沢文庫を見学、長く文庫の関長をつとめておられた宍戸先生の講演を聞いた。

当員先生は「実録の研究に当っては自ら足を運んで史跡をたずねる事により、遺物で残った知識あるいは教室で耳から得た知識のうらづけをし、これを一層豊富な確実なものとすることが肝要である。できるだけそう云う機会を捉え、また学校以外でのよい編纂なども努めてきくように。」と云うことを常にいっておられるが、この見学もこうした意図から数々の歴史学習の一環として行われたものであった。

当日一同は二時頃金沢文庫前に集合した。文庫は鉄筋コンクリートの建て物であるが、その優雅な神日本的建築様式があたりとよく調和して美しい。講演は二時の講義室で二時少し過ぎから約五十分間に亘って行われ、まず創立者北條実時が上立派女人物であり、また学問を好んだ人であったかということからはじまった。

実時は僅か十三才にして父のあとを継って小侍所別当となったが、その後まもなく将軍に従って旅に出、武名高い鎌倉駅に泊ることとなったとき、自分の宿舎が海岸のそれと非常にはなれているのを知った彼は、それでは守護の役を充分果たせないからといって松岡に設営して人々を驚かせたと云う。

彼はまた武術に長じており、時宗から可愛がられたのは彼の指揮によるのことである。一方学問に対する熱心さは格別で八幡宮で流鏑馬の行われたとき、一つがすんで次がはじまる迄の僅かの間にも難解な書物を読む事を怠なかったと云うほどである。われわれはその後いくつかの図書もある蔵列室を観覧したが帰りがけに、関先生に「先生はいつからここで、お仕事をしておられるのですか」とたずねると「昭和五年からです」とのことなので、「その頃この遺物はもう出来ていたのですか」と質問すると、「いや、その頃は金沢文庫の本は何の整理もされず、寺の中にごちゃごちゃとしまってありました。それをこの遺物を立てて待し整理したわけです。約二万冊ばかりありますが、その中、半分はかりしかまだ整理されていません。」とこたえられた。

（高一社会科選択生徒）

十一月のこよみ

1 水祭聖人祭・二年遠足
2 太死者の記念日
3 金天化日・野球対抗試合
15 水金沢文庫見学
13 十一三高一年遠足
23 天神祭感謝の日
25 日曜遠足
30 本火災復興祭

おわび

紙面の拡張、中間試験等のため十一月（第二十号）号の発行が明日より遅れたことをここに深くおわび致します。尚校の御注意をよく参考にし、より一層編集に努力いたしたいと思っております。